

評価指標及びモニタリング項目の状況

評価指標 一覧

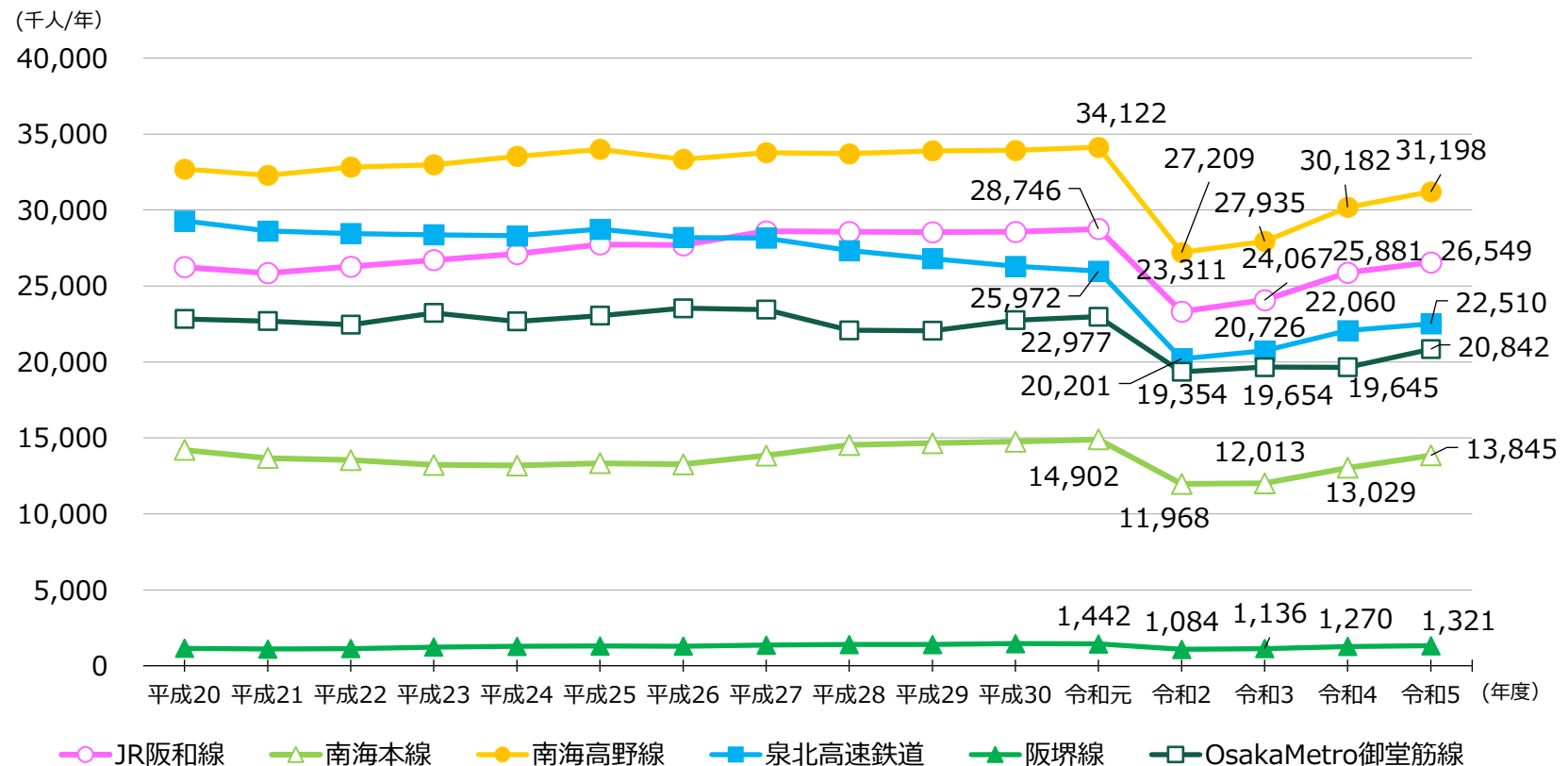
項目	基準値（令和4年度）	実績値	目標値
公共交通利用者数（年間乗車人員） 本市における鉄軌道、路線バス、堺市乗合タクシーの各利用者数	鉄軌道：112,067千人 路線バス：20,157千人 乗合タクシー：24千人 合計：132,248千人	鉄軌道：116,265千人 路線バス：21,941千人 乗合タクシー：27千人 合計：138,233千人 （令和5年度）	現況値以上
公共交通に係る市民満足度 堺市市政モニターアンケートによる現状の公共交通に対する満足度	56.2%	58.1%（令和6年度）	現況値以上
公共交通人口カバー率 鉄道駅から半径800m以内、路線バス・阪堺電車・堺市乗合タクシーの停留所（場）から半径300m以内の公共交通利用圏域に含まれる人口割合	96.4%	96.7%（令和6年度）	現況値

モニタリング項目 一覧

項目	基準値	実績値	関連する 目標
本市の公共交通に係る歳出	617百万円（令和4年度）	717百万円（令和5年度）	目標1,3
公共交通の利用頻度 （公共交通を「週1～2日以上」利用している 人の割合）	38.8%（令和4年度）	43.1%（令和6年度）	目標 1,2,3,5
移動の快適性・安全性の市民満足度 （車いす、ベビーカーでの移動やホーム柵設置 など）	36.9%（令和4年度）	40.7%（令和6年度）	目標2,4
バス停留所（各拠点以上）、車内の運行情 報及び施設案内等の多言語化率 （日・英2か国語以上）	停留所 39.5% 車内 53.0% （令和4年度）	停留所 39.5% 車内 61.9% （令和5年度）	目標2,3,6
ノンステップ車両の導入率	57.7%（令和4年度）	65.9%（令和5年度）	目標4
低床式車両の導入率	11.4%（令和4年度）	11.4%（令和5年度）	目標4
運輸部門での温室効果ガス実排出量	969千t-CO ₂ （令和2年度）	969千t-CO ₂ （令和3年度）	目標5
多様な関係者が参画する会議の開催回数	5回/年（令和4年度）	12回/年（令和5年度）	目標7

評価指標（公共交通利用者数 鉄軌道）

項目	基準値（令和4年度）	実績値（令和5年度）	目標値
公共交通利用者数（年間乗車人員） 本市における鉄軌道、路線バス、堺市乗合タクシーの各利用者数	鉄軌道：112,067千人 路線バス：20,157千人 乗合タクシー：24千人 合計：132,248千人	鉄軌道：116,265千人 路線バス：21,941千人 乗合タクシー：27千人 合計：138,233千人	現況値以上

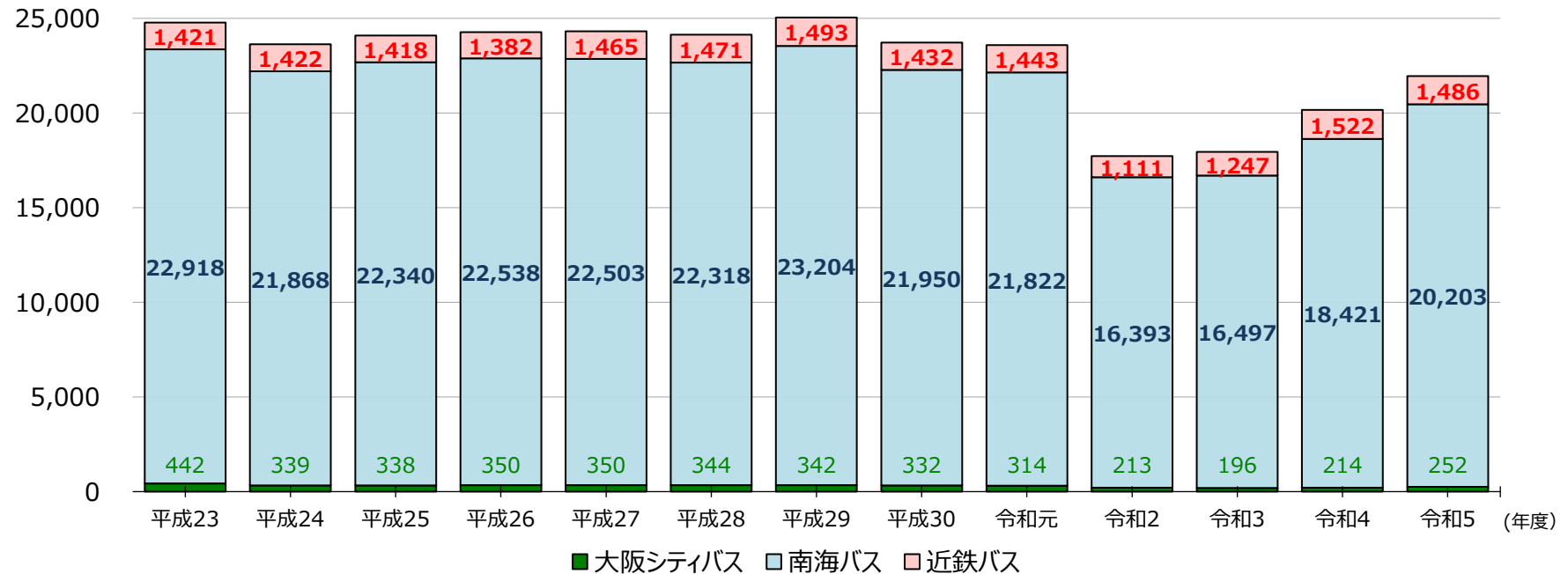


- 令和5年度の鉄軌道利用者数は、基準値である令和4年度実績から約3.7%増加している。
- コロナ禍から公共交通の利用が徐々に回復していることが要因と考えられる。

評価指標（公共交通利用者数 路線バス）

項目	基準値（令和4年度）	実績値（令和5年度）	目標値
公共交通利用者数（年間乗車人員） 本市における鉄軌道、路線バス、堺市乗合タクシーの各利用者数	鉄軌道：112,067千人 <u>路線バス：20,157千人</u> 乗合タクシー：24千人 合計：132,248千人	鉄軌道：116,265千人 <u>路線バス：21,941千人</u> 乗合タクシー：27千人 合計：138,233千人	現況値以上

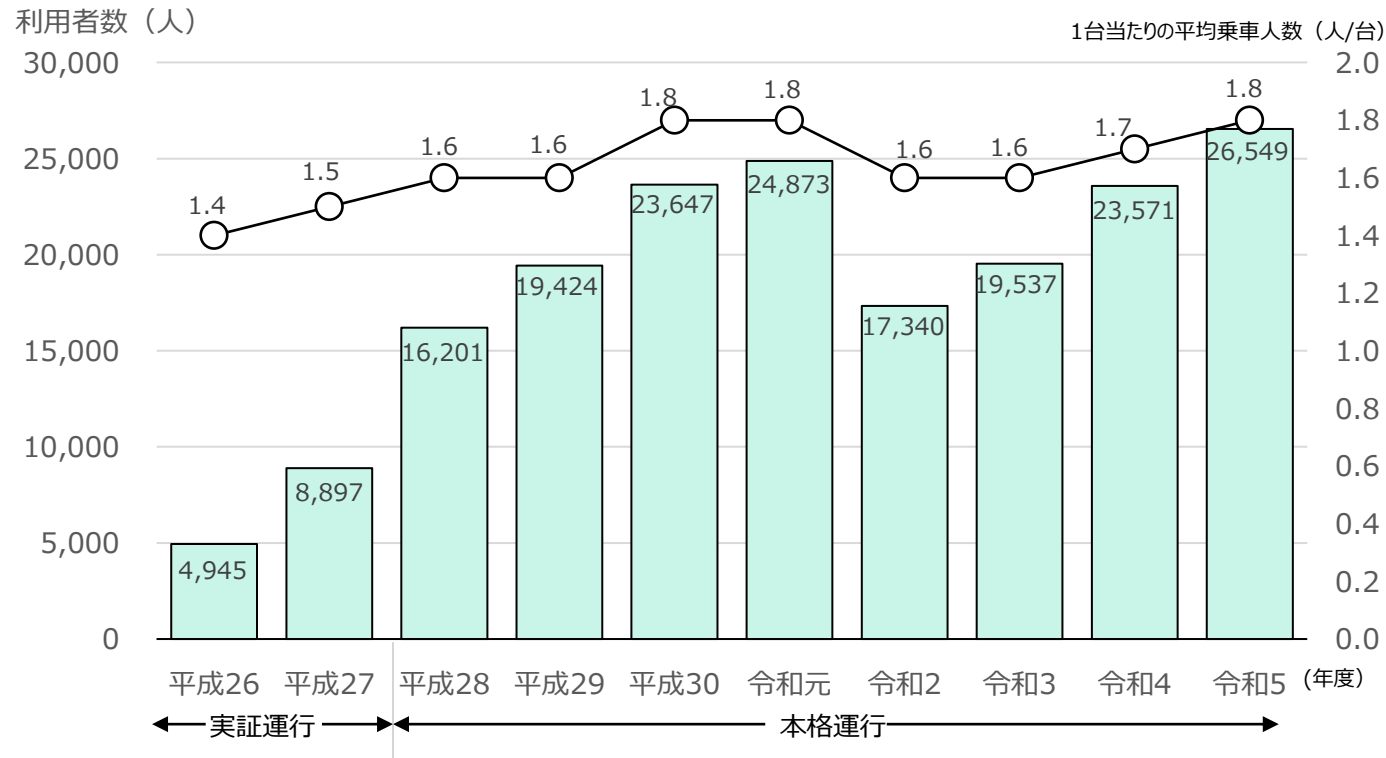
(千人/年)
30,000



- 令和5年度の路線バス利用者数は、基準値である令和4年度実績から約8.9%増加している。
- コロナ禍から公共交通の利用が徐々に回復していることが要因と考えられる。
- 近鉄バスの令和5年度利用者数は、前年度より減少はしているものの、コロナ禍前の水準を上回っている。

評価指標（公共交通利用者数 乗合タクシー）

項目	基準値（令和4年度）	実績値（令和5年度）	目標値
公共交通利用者数（年間乗車人員） 本市における鉄軌道、路線バス、堺市乗合タクシーの各利用者数	鉄軌道：112,067千人 路線バス：20,157千人 <u>乗合タクシー：24千人</u> 合計：132,248千人	鉄軌道：116,265千人 路線バス：21,941千人 <u>乗合タクシー：27千人</u> 合計：138,233千人	現況値以上

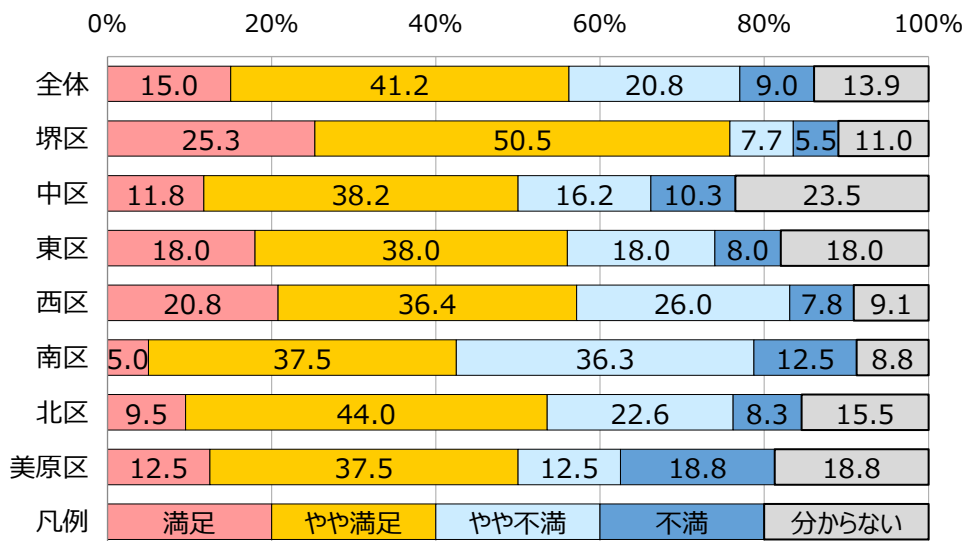


- 令和5年度の乗合タクシー利用者数は、基準値である令和4年度実績から約12.6%増加し、コロナ禍前の水準を上回っている。
- コロナ禍から公共交通の利用が回復していることが要因と考えられる。

評価指標（公共交通に係る市民満足度）

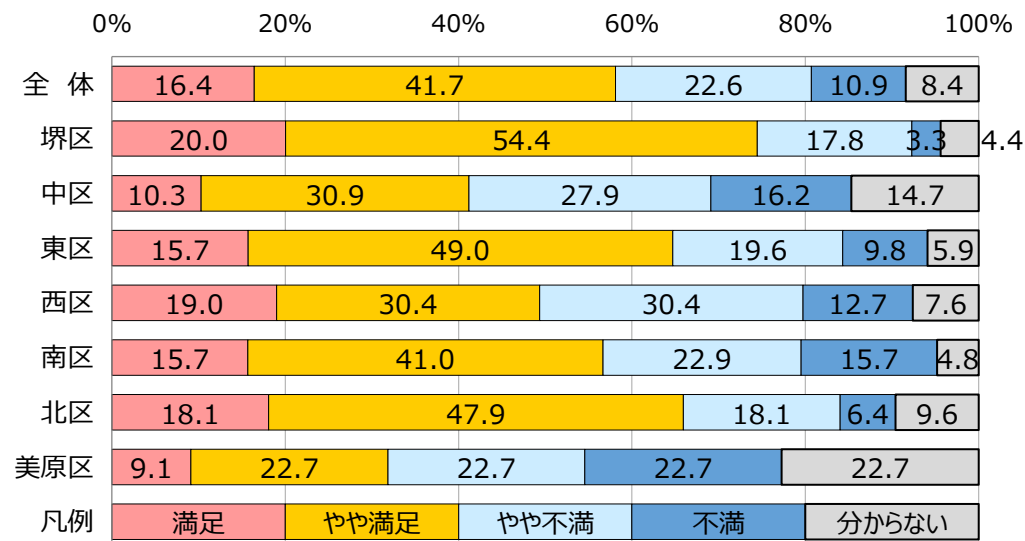
項目	基準値（令和4年度）	実績値（令和6年度）	目標値
公共交通に係る市民満足度 堺市市政モニターアンケートによる現状の公共交通に対する満足度	56.2%	58.1%	現況値以上

令和4年度 結果



(n=466)

令和6年度 結果



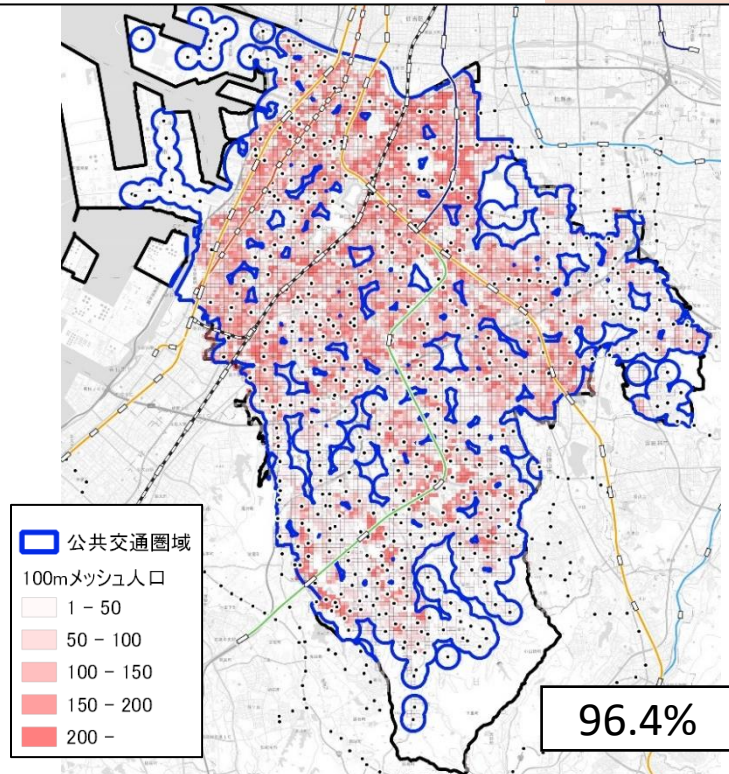
(n=487)

- 公共交通全体の満足度（「満足」と「やや満足」の合計）は、56.2%（令和4年度）から58.1%（令和6年度）と概ね横ばいである。
- 令和6年度の満足度は、堺区が74.4%、北区が66.0%と高く、中区が41.2%、美原区が31.8%と低い状況である。

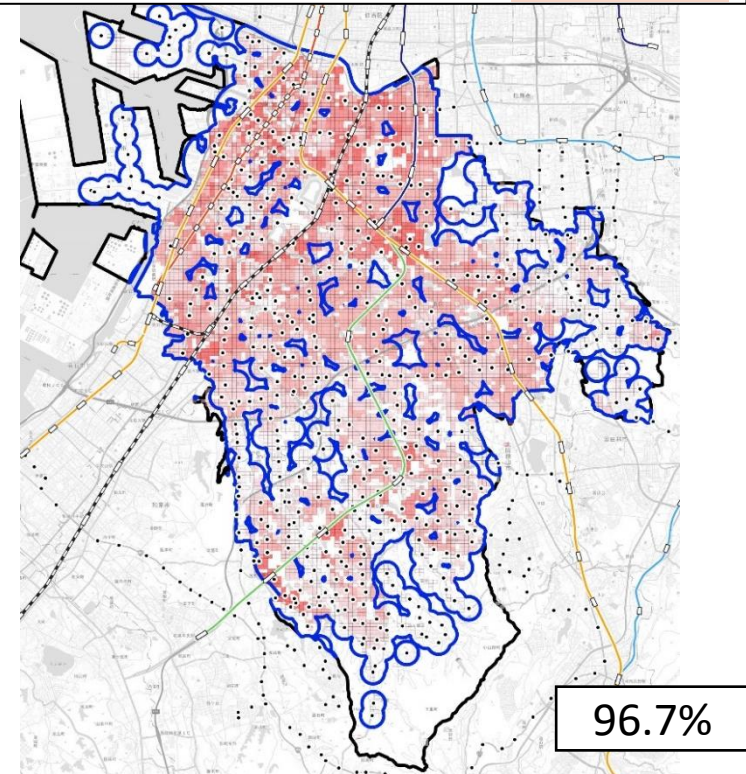
評価指標（公共交通人口カバー率）

項目	基準値（令和4年度）	実績値（令和6年度）	目標値
公共交通人口カバー率 鉄道駅から半径800m以内、路線バス・阪堺電車・堺市乗合タクシーの停留所（場）から半径300m以内の公共交通利用圏域に含まれる人口割合	96.4%	96.7%	現況値

公共交通圏域（令和4年度） 鉄軌道＋路線バス＋乗合タクシー



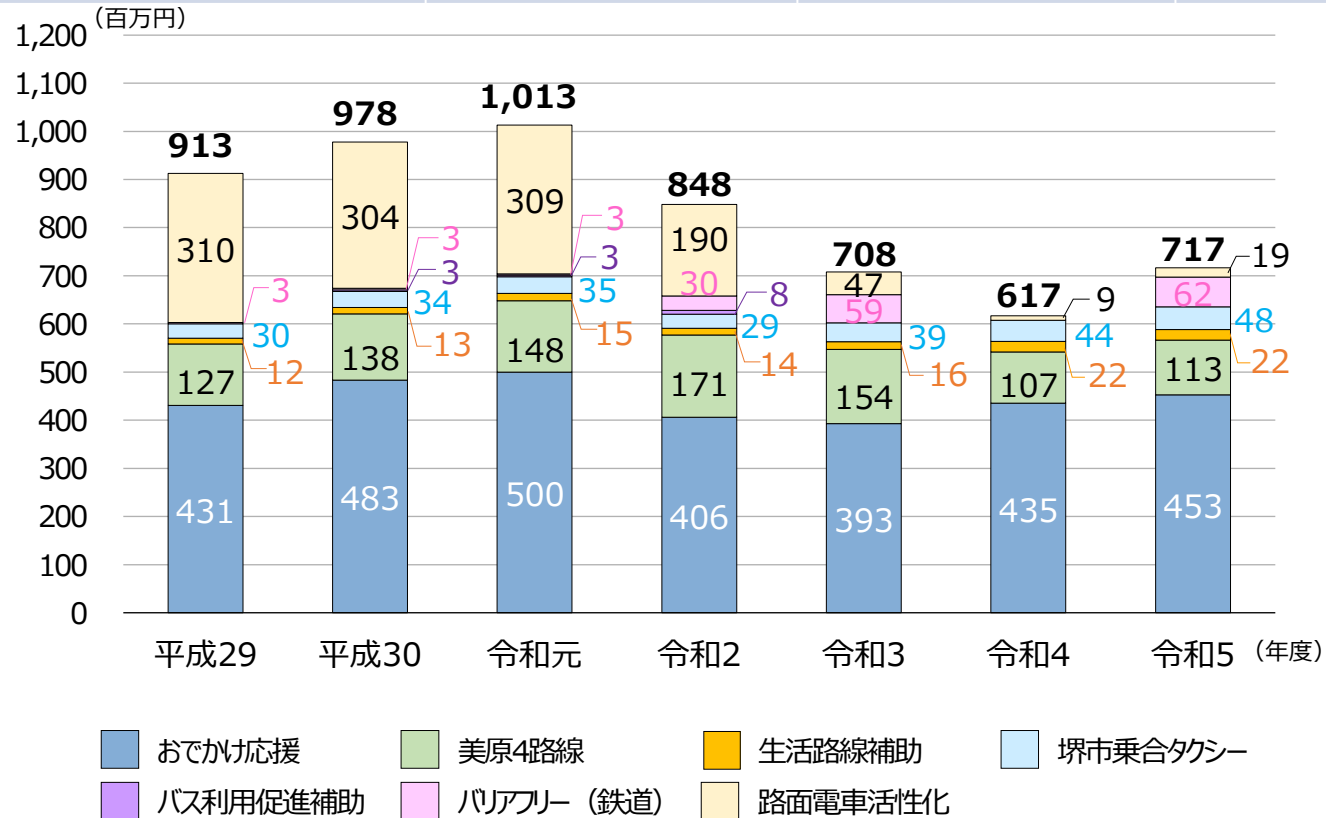
公共交通圏域（令和6年度） 鉄軌道＋路線バス＋乗合タクシー



- 令和4年度と令和6年度で、堺市内の駅や停留所のカバー圏に変更はない。
- メッシュ人口は平成27年度国勢調査結果から令和2年度国勢調査結果に変更し、公共交通利用圏域（鉄軌道＋バス＋乗合タクシー）の人口カバー率は、96.4%（令和4年度）から96.7%（令和6年度）とほぼ横ばいである。

モニタリング項目（本市の公共交通に係る歳出）

項目	基準値（令和4年度）	実績値（令和5年度）	関連する目標
本市の公共交通に係る歳出	617百万円	717百万円	目標1,3



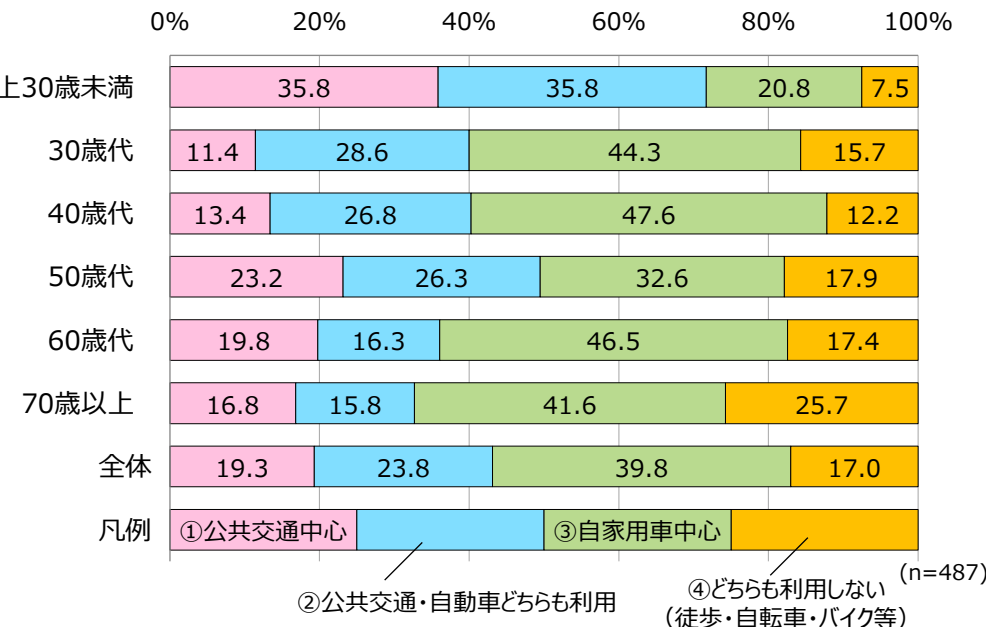
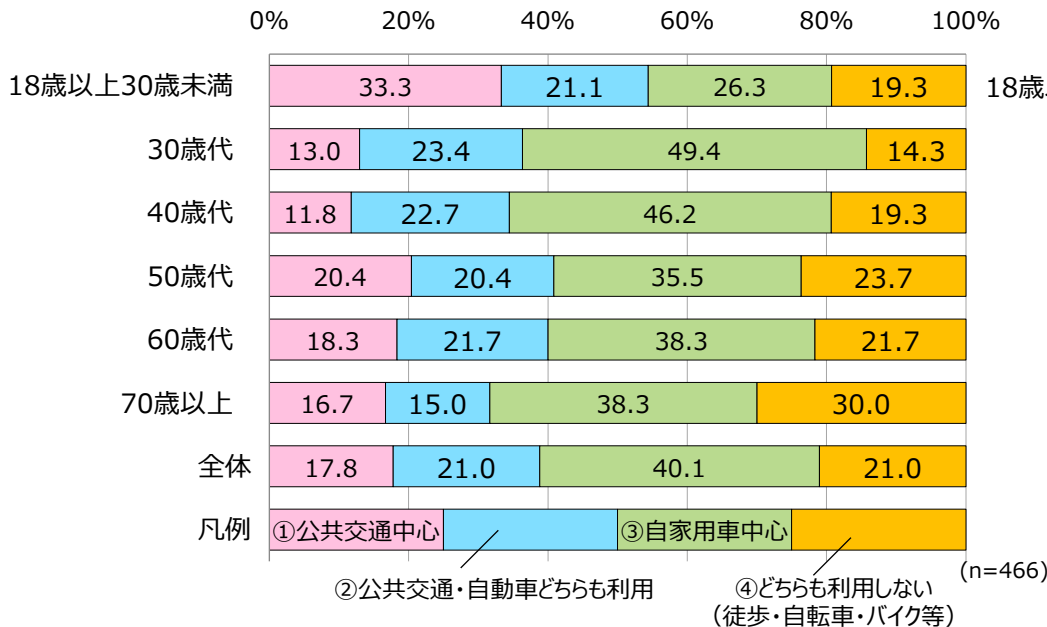
- 令和5年度の歳出額は、南海高野線中百舌鳥駅での可動式ホーム柵（4番線）の整備や、おでかけ応援制度の利用者数が増加したことによる負担額増などにより、令和4年度の歳出額から約1億円増加した。

モニタリング項目（公共交通の利用頻度）

項目	基準値（令和4年度）	実績値（令和6年度）	関連する目標
公共交通の利用頻度 （公共交通を「週1～2日以上」利用している人の割合）	38.8%	43.1%	目標 1,2,3,5

令和4年度 結果

令和6年度 結果

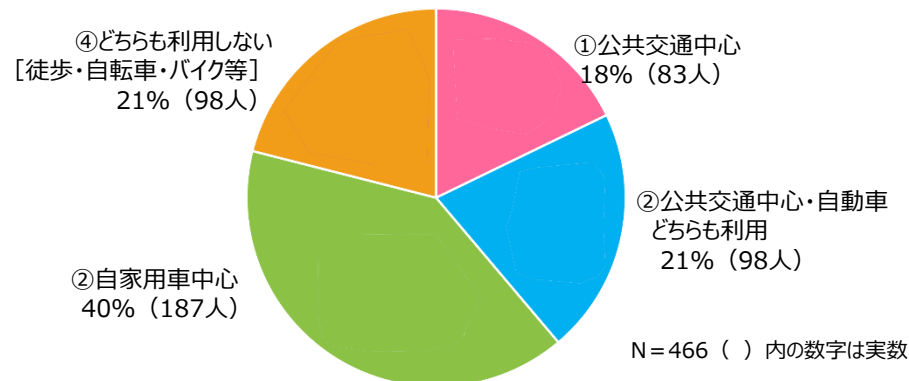


- 公共交通の利用頻度について、「①公共交通中心」「②公共交通・自動車どちらも利用」（いずれも公共交通を週1～2日以上利用している人）の割合は、38.8%（令和4年度）、43.1%（令和6年度）である。
- 年齢別でみると、令和6年度の利用頻度は、18歳以上30歳未満が71.6%、50歳代が49.5%と高く、70歳以上が32.6%と低い状況である。

<参考 公共交通及び自動車の利用頻度からの分類>

アンケートのうち、設問「日頃、次の公共交通をどの程度利用されていますか（鉄道・阪堺電車・路線バス・堺市乗合タクシー・タクシーの各項目を回答）」と、設問「日頃、自動車をどの程度利用していますか」から、以下の通り利用層を区分し、公共交通の利用状況や満足度、公共交通の維持・確保等について分析しました。

分類	設問の回答項目
①公共交通中心	公共交通の利用頻度が多く（いずれかが「週1～2日」以上）かつ、自家用車の利用頻度が少ない（「月2～3日」以下）
②公共交通・自動車 どちらも利用	公共交通の利用頻度が多く（いずれかが「週1～2日」以上）かつ、自家用車の利用頻度が多い（「週1～2日」以上）
③自家用車中心	公共交通の利用頻度が少なく（全てが「月2～3日」以下）かつ、自家用車の利用頻度が多い（「週1～2日」以上）
④どちらも利用しない （徒歩・自転車・バイク等）	公共交通の利用頻度が少なく（全てが「月2～3日」以下）かつ、自家用車の利用頻度が少ない（「月2～3日」以下）



図表 公共交通及び自動車の利用頻度からの分類

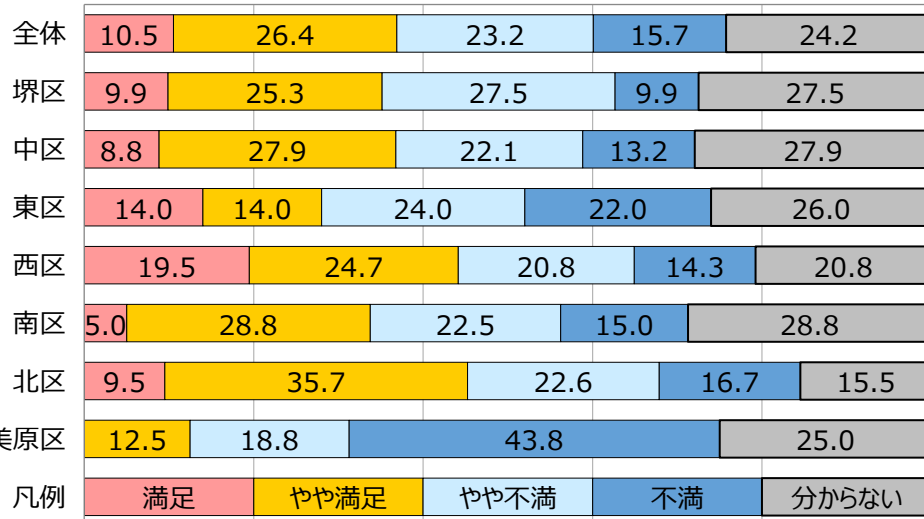
資料：堺市市政モニター（令和4（2022）年度）

モニタリング項目（移動の快適性・安全性の市民満足度）

項目	基準値（令和4年度）	実績値（令和6年度）	関連する目標
移動の快適性・安全性の市民満足度 （車いす、ベビーカーでの移動やホーム柵設置など）	36.9%	40.7%	目標2,4

令和4年度 結果

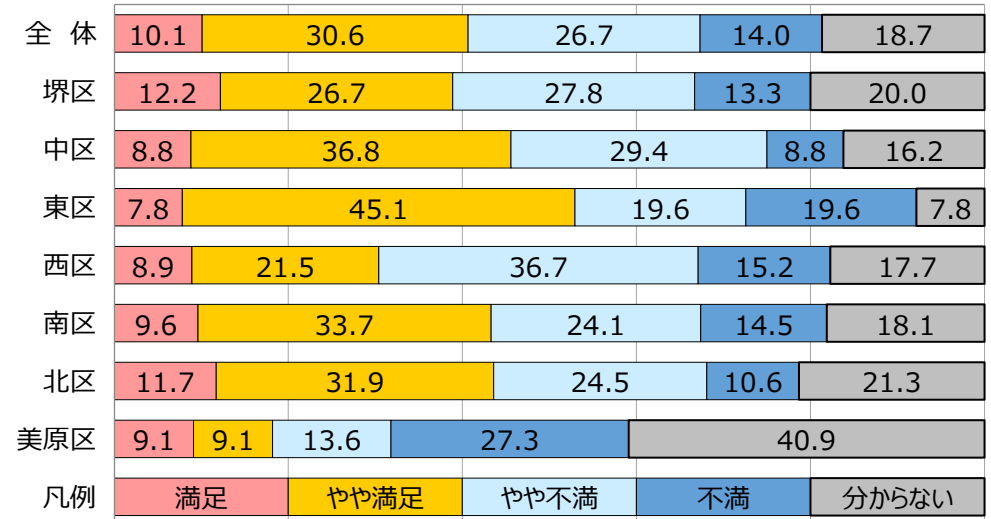
0% 20% 40% 60% 80% 100%



(n=466)

令和6年度 結果

0% 20% 40% 60% 80% 100%



(n=487)

- 移動の快適性・安全性の満足度（「満足」と「やや満足」の合計）は、36.9%（令和4年度）から40.7%（令和6年度）と概ね横ばいである。
- 居住区別でみると、令和6年度の満足度は、東区が52.9%と最も高く、美原区が18.2%と、最も低い状況である。